

令和8年度 第2回 真鶴町学校運営協議会概要

1 日時：令和8年7月30日（木） 10:00～11:40

2 場所：真鶴中学校 図書室

3 出席者：真鶴町学校運営協議会委員13名、真鶴中学校教頭、真鶴町教育委員会事務局1名

4 内容

【1学期の園・学校の様子】

幼稚園長より＝主体性を大切にしている。特に縄跳びの活動では、園児の挑戦する姿勢が顕著にみられた。玉ねぎやジャガイモを育て、カレーやゼリー作りを行った。

※別紙園だより参照

小学校長より＝水泳の授業を全学年アクアパークにて5～6月に行った。天候に左右されず予定通りできたことが良かった。

小中同じ校舎での生活となって初めての運動会なので、「NEW」というスローガンを掲げ、中学生にインタビューしながら進めていく。8月31日には、中学生を迎える会を企画中。

※校地内駐車場確保について、前回の熟議での成果と言えるような展開があった。感謝しています。

中学校長より＝校舎お別れセレモニーを生徒会主体で実施できた。生徒たちは校舎備品等の片づけを積極的に大掃除等何度も行った。夏休みに入っても有志生徒が手伝っている。8月27日に2学期に向けて準備登校し、改めてこれまでのスローガン「Begin」や校訓を胸に小学校との共同生活をスムーズに始めたい。

※別紙学校だより参照

【2学期からの小中学校の教育活動について（小中連絡会の報告）】

中学校教頭より＝小学校の日程については、これまでと変更なし。中学校は登校時間が8:25か8:20となる。

特別教室の使用状況を鑑みて中学校の時間割は作成しなおす。

基本的な動線は小中で分ける。

グラウンド使用については、部活動と児童の活動を配慮し、安全にできるよう仕切りを工夫する。

【熟議】「子どもの成長をともに支える～学ぶ姿勢を育てる三者の協働～」

中学校教頭がファシリテーターとなり、「子どもにどんな力を身につけさせたいか、そのために大人は何ができるか」を全委員で考えた。話し合いの内容がすぐ学校教育に反映されるとは限らないが、みんなで思いを確認して次につなげていきたい。

・神社や祭りの手伝い、さらに地域清掃（廃品回収）などができる。→環境問題学習につながる

- ・生涯学び続ける、「学び方」を学ぶ。「地域から」「地域とともに」学ぶ。
- ・自分で選び判断する力。学校・保護者・地域が思いを共有することが必要
- ・積極性・コミュニケーション力が伸びるような安心できる環境を整える。
- ・読書習慣、ICT 活用力も大事だが、親子ともに活動できる場を持ちたい。
- ・AI の時代に、計算力や漢字は必要ないかもしれないが、学ぶ必要性や自分で学ぶことを見つめられるようになってほしい。
- ・自分で考えられる子、先のことを示すのではなく、今を子どもらしく過ごせるように・・・
- ・情報を選び、判断し、自己肯定感・有用感が得られること。地域でサポートしたい。
- ・主体的に考え、行動する力。小中9 学年通したグループ活動。子どもに求めすぎない。
- ・「考える＝基礎基本が不可欠・関わる＝違いを認め、自他ともに大切にする」→「創り出す」教室は、社会の縮図・・・
- ・伝え続けることで理解を深める、「社会性（力）」

※以上の意見から、自分にすぐできることについて考えた。

⇓

- ・お願いなどを子どもたち・地域に発信する。
- ・お便りで地道に発信する。
- ・地域活動など、見直しを提案する。
- ・誰にでも気軽に挨拶してみる。
- ・夏休みでもあるから、親子で話す（向き合う）時間をもっと持ってみる。
- ・地域活動の中で、子供の思いを受け止め、傾聴する。
- ・求めすぎず、あるがままを受け止める。
- ・挑戦を見守る。
- ・発信を継続する。
- ・毎朝あいさつ。

5 連絡

次回日程：令和8 年 10 月 27 日（火）9：50～（予定）

於：ひなづる幼稚園 2F ホール